

平成 2 7 年 度  
事 業 報 告

一般社団法人 日本工業用水協会

# 目次

1. 会 務 .....	1
(1) 会員の現況 .....	1
(2) 総会 .....	1
(3) 理事会 .....	3
(4) 監事会 .....	5
(5) 協会運営委員会 .....	6
2. 工業用水道事業の推進 .....	7
(1) 平成28年度工業用水道事業施策に関する要望 .....	7
(2) 再生可能エネルギー特別措置法における賦課金減免制度の見直しに 関する要望 .....	7
3. 事 業 .....	8
(1) 調査研究業務 .....	8
(2) 出版に関する事業 .....	13
(3) 講習会事業 .....	15
(4) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業 .....	15
(5) 工業用水道保険事業 .....	16

## 1. 会 務

### (1) 会員の現況

平成28年3月31日現在の会員は、下表に示すとおりである。

会 員 別	会 員 数	27年度	
		入 会 者	退 会 者
正会員	137	0	7
事業者	118	0	5
利用者	19	0	2
特別会員	40	4	3
関連産業会員	36	0	7
名誉会員	5	(5)	
計	218	4	17

顧問：4名（内名誉会員が3名）（議決権対象は213会員）

### (2) 総会

#### (2) . 1 臨時総会

日 時 平成27年4月23日（木）13：30～14：00

場 所 日本工業用水協会 会議室

会員数 231会員（平成27年4月1日現在）

出席会員 5社員

代理出席会員 11社員

委任状提出会員 137社員

議決権行使会員 48社員

計 201社員

次 第 挨拶

議 題

議案 理事3名及び監事2名の選任（案）

#### 概 要

業務執行理事の本郷専務理事から、定時総会で決議された総会運営要領に基づいて、会長代理の愛知県企業庁種村技術監を議長として提案し、出席会員全員から異議なしの発言があり、種村技術監が議長に選出された。

議長から、議事の開会宣言後、出席状況について事務局に報告を求め、臨時総会の成立が報告された。引き続き議事録署名人の選任について、議長一任の発言に基づき、議長のほか、理事の一般財団法人造水促進センター平井常務理事、株式会社クボタパイプシステム事業ユニット藤澤担当部長を議長から指名した。

議長の求めにより、本郷専務理事から現役員の現職退任等に伴う理事辞任による、後任の理事3名並びに監事2名の選任を求めた。

議長は、役員候補者ごとに決議を行い、それぞれ異議なく承認可決され、候補者全員が原案のとおり選任された。

理事 中野 幹也殿、小池 精一殿、寺谷 進殿、  
監事 吉野 和晴殿、田中 嘉一殿、

(2) . 2 第3回定時総会

日 時 平成27年6月2日(火) 14:00～16:45  
場 所 東京都文京区湯島(東京ガーデンパレス 3階 平安の間)

会員数 231会員(平成27年5月13日現在)

出席会員数 出席会員 12社員  
代理出席会員 19社員  
委任状提出会員 120社員  
議決権行使会員 42社員  
計 193社員

来 賓 経済産業省産業施設課 津村課長 ほか2名  
総務省公営企業経営室 細見室長 ほか1名  
国土交通省水資源政策課 小長井課長補佐  
関東経済産業局企業立地支援課 猪俣課長 ほか1名  
(公社)日本水道協会 尾崎理事長 ほか1名  
(一社)日本水道工業団体連合会 仁井専務理事 ほか1名

次 第 会長挨拶  
来賓祝辞  
会長表彰  
議 題

I 議案

- 第1号議案 平成26年度事業報告(案)
- 第2号議案 平成26年度決算報告書(案)及び監査報告書
- 第3号議案 役員を選任(案)
- 第4号議案 名誉会員の承認(案)
- 第5号議案 総会運営要領改正(案)

II 報告事項

- (1) 平成26年度公益目的支出計画実施報告書
- (2) 平成27年度事業計画及び平成27年度収支予算書
- (3) 平成28年度工業用水道事業施策に関する要望事項
- (4) 交付要領細則及び歩掛改訂検討小委員会報告
- (5) 工業用水道維持管理指針検討小委員会報告
- (6) 工業用水道施設設計指針・解説改訂検討小委員会設置

講演 産業技術総合研究所総括研究主幹 丸井 敦尚様

概 要

会長の中野愛知県企業庁長の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省井上地域経済産業審議官、総務省佐藤自治財政局長、国土交通省水管理・国土保全局志水水資源部長のご祝辞を賜った。このほかご来賓として出席いただいた方々等のご紹介を行った。引き続き会長表彰として功労賞13名、有効賞1名、勤続賞63名のうち、当日参加の方々の表彰状授与式が執り行われた。

中野会長が議長となって、議事の開会宣言後、議長から出席状況について事務局に報告を求め、総会成立が報告された。引き続き議事録署名人について、議長

一任の発言に基づき、議長のほか一般財団法人造水促進センター平井常務理事、大成機工株式会社鈴木代表取締役社長を議長から指名した。

各議案について、議長から事務局に議案ごとの説明を求め、本郷専務理事が説明を行い各議案の承認を求めた。審議が行われ議案ごと決議され、すべて原案どおりに了承された。

最後に、産業技術総合研究所総括研究主幹丸井様から「水循環基本計画と地下水資源の多様性評価」について講演が行われた。

なお、選任された役員は次のとおり。

理事・監事 現理事の再任（理事 11名、監事 3名）  
理事 石井 裕通殿、佐保 哲康殿

(3) 理事会

(3) . 1 第15回理事会（書面審議）

日 時 平成27年4月3日

議 題 平成27年度臨時総会の招集に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し丹羽会長名で、臨時総会招集承認に係る書面決議を提案し、4月3日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

(3) . 2 第16回理事会（書面審議）

日 時 平成27年4月28日

議 題 代表理事（会長）の選定に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し本郷専務理事名で、代表理事（会長）選定承認に係る書面決議を提案し、4月28日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

代表理事 会長 中野 幹也 殿

(3) . 3 第17回理事会

日 時 平成27年5月13日（水） 14:00～15:15

場 所 東京都千代田区神田駿河台（TKP ガーデンシティーお茶の水 3階会議室）

出席者 会長（代表理事）愛知県中野企業庁長 ほかに28名  
うち理事9名（総数11名、平成27年5月13日現在）  
監事2名（総数3名、平成27年5月13日現在）

来 賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほかに1名

次 第 会長挨拶

来賓紹介

議 題

I 議案

第1号議案 平成26年度事業報告（案）

第2号議案 平成26年度決算報告書（案）、平成26年度公益目的支出計画実施報告書（案）及び公益目的支出計画実施完了確認請求書並びに監査報告書

- 第3号議案 名誉会員の推薦（案）
- 第4号議案 会長表彰受賞候補者の選考（案）
- 第5号議案 総会運営要領改正（案）
- 第6号議案 平成28年度工業用水道事業施策に関する要望事項及び実施（案）
- 第7号議案 平成27年度第3回定時総会招集及び議題並びに議案概要（案）

## II 報告事項

- (1) 交付要領細則及び歩掛表改訂検討小委員会報告
- (2) 工業用水道維持管理指針検討小委員会報告
- (3) 工業用水道施設設計指針・解説改訂検討小委員会の設置
- (4) 理事会提出議案について（主に書面審議）
- (5) 平成26、27年度のこれまでの事業経過報告

### 概 要

会長の中野愛知県企業庁長の挨拶に続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。引き続き同課村上係長を紹介した。

中野会長が議長となって議事に入り、事務局から各議案について説明を行い、各議案について質疑応答の後、全員異議なく原案のとおり了承された。

### (3) . 4 第18回理事会

日 時 平成27年6月2日（火）15：25～15：35

場 所 東京ガーデンパレス 3階「桂」

出席者 理事7名（総数13名、平成27年6月2日現在）

監事2名（総数 3名、平成27年6月2日現在）

ほか4名

次 第 開 会

議 題

第1号議案 代表理事（会長、副会長）、業務執行理事（専務理事）の選定及び副会長の会長職務代行順位（案）

第2号議案 入会の承認（案）

### 概 要

中野理事が議長となって議事に入り、本郷理事が各議案について説明を行い、各議案について質疑応答の後全員異議なく原案のとおり了承された。

選定結果	代表理事（会長）	吉田 雅一殿
	代表理事（副会長）	弘中 勝久殿（順位1位）
	代表理事（副会長）	中野 幹也殿（順位2位）
	業務執行理事（専務理事）	本郷 秀昭

### (3) . 5 第19回理事会（書面審議）

日 時 平成28年1月13日

議 題

第1号議案 「再生可能エネルギー特別措置法における賦課金減免制度の見直し」に係る要望活動の実施について

第2号議案 「再生可能エネルギー特別措置法における賦課金減免制度の見直し」に係る要望の事項及び内容（別添要望書）について

第3号議案 要望書の記載内容の決定について提案者、正副会長にご一任い

## ただくことについて

### 概 要

定款第36条に基づき、役員に対し本郷専務理事名で、第1号議案から第3号議案について提案をし、1月13日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

### (3) . 6 第20回理事会

日 時 平成28年1月29日 14:00～15:00

場 所 TKP ガーデンシティお茶の水 2階会議室

出席者 会長（代表理事）千葉県吉田企業庁長 ほか20名  
うち理事7名（総数13名、平成28年1月29日現在）  
監事2名（総数 3名、平成28年1月29日現在）

来 賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名

次 第 会長挨拶

来賓紹介

議 題

#### I 議案

第1号議案 平成28年度事業計画（案）

第2号議案 平成28年度収支予算書（案）

第3号議案 表彰候補者選考基準改正（案）

第4号議案 代表理事及び役員の在職期間並びに選定・選任等（案）  
及びブロック変更等（案）

第5号議案 専務理事の在職期間等（案）

第6号議案 入会の承認（案）

#### II 報告事項

(1) 平成29年度以降の事務局執行体制について

(2) 公益目的支出計画の終了について

(3) 施策要望活動に伴う利用者（協議会等）の協力要請結果等について

(4) 各種委員会等報告について

(5) 平成27年度のこれまでの事業経過報告

### 概 要

会長の吉田千葉県企業庁長の挨拶に続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。引き続き同課村上係長の紹介を行った。

吉田会長が議長となって議事に入り、事務局から各議案について説明を行い、各議案について質疑応答の後、全員異議なく原案のとおり了承された。

### (4) 監事会

日 時 平成27年4月28日（火）14:00～15:30

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 福島県企業局 吉野工業用水道課長

岡山県企業局 田中局長

大成機工株式会社 鈴木代表取締役社長

### 概 要

定款第24条（監事の職務及び権限）に基づき、監事会で監事による平成26年度事業報告、決算報告書及び公益目的支出計画実施報告書の監査が行われ、会長宛に、それぞれ適正である旨の監査報告書が提出された。

(5) 協会運営委員会

(5) . 1 平成27年度第1回協会運営委員会

日 時 平成27年4月23日（木）14：15～15：45

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 愛知県企業庁種村技術監 ほか18名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官

次 第 開 会

議 題

- 1) 前回議事録について
- 2) 第17回理事会提出議案について
- 3) 総会運営要領改正について
- 4) 理事会提出議案について
- 5) 平成29年度以降の事務局体制について
- 6) その他

概 要

本郷専務理事の開会の挨拶に引き続き、経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官から挨拶をいただいた。同課村上係長の紹介を行った。

種村愛知県企業庁技術監が委員長となり、委員長挨拶に引き続き、次第に従い議題の審議が行われた。

その結果、前回議事録を含め、すべて原案どおり了承され、理事会にはかることとした。

(5) . 2 平成27年度第2回協会運営委員会

日 時 平成27年12月14日（月）14：00～15：40

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 千葉県企業庁山崎管理・工業用水部次長 ほか19名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名

次 第 開 会

議 題

- 1) 協会運営委員会（第1回）議事録（案）について
- 2) 第19回理事会提出議案について
- 3) 代表理事及び役員等の任期並びに選定・選任（案）及びブロック変更等（案）
- 4) 専務理事の就任期間等（案）
- 5) 平成29年度以降の職員外部招聘（案）
- 6) その他

概 要

本郷専務理事の開会の挨拶に引き続き、経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官から挨拶をいただいた。同課村上係長の紹介を行った。

山崎千葉県企業庁次長が委員長となり、委員長挨拶に引き続き、次第に従い議題の審議が行われた。

その結果、前回議事録は原案どおりで了承された。理事会提出議案の内、表彰

候補者選考要領の改正案を修正のうえ理事会にはかることとし、他については原案どおり了承された。

## 2. 工業用水道事業の推進

### (1) 平成28年度工業用水道事業施策に関する要望

日 時 平成27年7月15日(水)

参加者 会長千葉県吉田企業庁長、徳島県企業局石井副局長、ほか13名

概 要

第17回理事会で承認された要望事項等について、正副会長、役員、事務局代表で構成する要望団により、経済産業省、総務省、国土交通省水管理・国土保全局等へ要望を行った。なお、経済産業省では、若井審議官、津村課長、板倉工業用水道計画官、木全課長補佐等との意見交換を行った。

### (2) 再生可能エネルギー特別措置法における賦課金減免制度の見直しに関する要望

日 時 平成28年1月14日(木)

参加者 会長千葉県吉田企業庁長、静岡県企業局天野次長、事務局

概 要

第19回理事会で承認された要望事項に、会長等により資源エネルギー庁に対し要望を行った。

### 3. 事業

#### (1) 調査研究業務

##### (1) . 1 工業用水道事業研究大会

日 時 平成27年10月22日(木)、23日(金)  
場 所 兵庫県淡路市淡路夢舞台国際会議場 (B1階イベントホール)  
参加者 160名  
来 賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか4名  
総務省公営企業経営室 細見室長 ほか1名  
顧問 東京都市大学 綾名誉教授  
お茶の水女子大学基幹研究院 大瀧教授

##### 概 要

開会挨拶の後、兵庫県荒木公営企業管理者から歓迎の挨拶があり、次いでご来賓としてご出席をいただいた総務省細見公営企業経営室長並びに経済産業省板倉工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。顧問の綾東京都市大学名誉教授の紹介に引き続き、大会の運営方法を事務局より報告し了承を得た。

1日目の午前中は、指定課題Ⅰの「耐震基準への対応・対策状況」について、大阪広域水道企業団事業管理部渡邊工業用水グループ長が座長となって進められた。最初に事務局からアンケート調査結果の報告、次いで川崎市、三重県、徳島県から事例紹介が行われた。また、自由課題1・2について、東京都、大阪広域水道企業団から事例紹介があり、質疑応答が行われた。

午後は、最初に「工業用水道の技術的基準を定める省令の改正」について水資源機構の辻本副参事から講演をいただき、引き続き指定課題Ⅱの「災害時における工業用水道の有効活用の対策・対応状況」について、アンケート結果の報告に次いで、福島県、大阪広域水道企業団から事例紹介が行われ、質疑・意見交換が行われた。

午後の後半は、指定課題Ⅲの「料金見直しに伴う対応状況等」について、神戸市水道局安東業務課長が座長となって進められた。指定課題Ⅲと自由課題3についてアンケート結果を報告、次いで茨城県、川崎市、山口県から事例紹介が行われ、質疑・意見交換が行われた。その後、指定課題Ⅳ「未売水対策としての需要開拓等の取組み状況」及び自由課題4について、アンケート結果の報告に次いで、栃木県、愛知県、山口県から事例紹介があり、事前質問を含め質疑応答・意見交換が行われた。最後に、経済産業省、総務省、綾顧問、大瀧教授からアドバイス・講評をいただいて討議を終了した。

その後、関連産業会員の技術情報発表としてJFEエンジニアリング(株)、水道用管路更正・更新工法協会、積水化学工業(株)、大成機工(株)、(一社)日本ダクトイル鉄管協会からそれぞれ技術紹介の発表が行われた。

最後に来年度開催地の愛知県企業庁梶藤管理部長から引き受けの挨拶があった。

2日目は、兵庫県企業庁等のご協力を頂き、権現ダム太陽光発電所、受水企業のキッコーマン(株)高砂工場をそれぞれ視察し2日間の大会を終了した。

##### (1) . 2 第51回研究発表会

日 時 平成28年2月25日(木)、26日(金)  
場 所 東京都千代田区市ヶ谷(自動車会館 大会議室)

参加者 一般参加者約100名、発表者等36名  
来 賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官  
概 要

小泉編集委員長の挨拶に続き、ご来賓としてご出席いただいた経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。その後、会長代理小泉委員長から、論文賞（特別賞）「排水試験CODMnの物語」の並木博氏と奨励賞「管路の維持管理・更新事業について」の茨城県企業局施設課にそれぞれ表彰がなされた。続いて日刊工業新聞社賞が「耐震継手ダクタイル鉄管を用いた大変位対応システム」の（株）クボタ・金沢大学と「汚泥濃縮装置ピストン濃縮機の水道施設への適用」の水ing（株）へ日刊工業新聞社小松総務部長から賞状等が贈られた。

続いて研究発表に入り、上記受賞記念講演のほか22件の研究発表並びに活発な質疑応答が2日間にわたって行われた。

(1) . 3 経営委員会・技術委員会（合同委員会）

日 時 平成27年5月1日（木）14：00～16：00

場 所 TKP ガーデンシティお茶の水 2階会議室

出席者 経営委員会委員長 茨城県企業局河田業務課長、技術委員会委員長綾顧問 ほか委員等26名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名  
総務省公営企業経営室 木村課長補佐

次 第 開 会

委員の紹介

議 題

- 1) 交付要領細則及び歩掛表改訂検討小委員会報告（報告事項）  
○ 平成26年度活動報告について
- 2) 工業用水道維持管理指針検討小委員会報告（報告事項）  
○ 平成26年度活動報告について
- 3) 工業用水道施設設計指針改訂検討小委員会の設置について
- 4) 平成27年度工業用水道事業研究大会について
  - (1) 検討課題の選定について
  - (2) スケジュール・開催（案）
- 5) 平成28年度工業用水道事業施策要望について
  - (1) 施策要望項目等について
  - (2) 要望の手順について
- 6) その他

概 要

経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官、総務省公営企業経営室木村課長補佐からそれぞれご挨拶を頂いた後、河田経営委員長、綾技術委員長の進行により、各議題について、審議が行われた。

議題4)までの審議を綾技術委員長の進行で行うこととし、1)、2)につて報告された後、3)の工業用水道施設設計指針改訂検討小委員会の設置が承認された。

議題4)の研究大会検討課題について審議の結果、指定課題として1. 耐震基準への対策・対応状況、2. 災害時における工業用水道の有効活用の対策・対応状況、3. 料金見直しに係る対応状況等、4. 未売水対策としての需要開拓等取組状況の4件が、自由課題として、経年劣化した仕切弁の点検・主要ポンプの精

密点検、ほか3件が選定された。

議題5)の審議を河田経営委員長の進行で行い、平成28年度施策要望案をとりまとめ、理事会に諮ることとした。

(1) . 4 編集委員会 (後述の編集委員会第5回参照)

日 時 平成27年12月18日 (金)

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか20名

概 要

平成27年会誌掲載の論文の中から論文賞の選考を行うとともに、第51回研究発表会(平成28年2月)の運営、応募発表及び日刊工業新聞社賞の審査、プログラム編成を行った。

(1) . 5 工業用水道施設設計指針改訂検討小委員会

(1) . 5① 工業用水道施設設計指針改訂検討小委員会 (平成27年度第1回)

日 時 平成27年10月26日 (月) 14:00~16:45

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 大瀧委員長 ほか21名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか2名

次 第 開 会

委員の紹介

委員長の選出

委員長挨拶

議 題

1) 今後の進め方等について

2) アンケート内容について

3) その他

概 要

事務局の挨拶に引き続き、経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官のご挨拶をいただいた。同課担当官の紹介に引き続き、出席委員の紹介を行い、大瀧委員長を互選した。委員長挨拶に続き、今後の進め方等の検討審議を行い、原案どおりで凡そのスケジュールの確認が行われた。引き続き各委員から設計指針の活用状況、改訂に当たっての意見交換等を行い、その後、事業者への改訂要望アンケート案を調整した。

(1) . 5② 工業用水道施設設計指針改訂検討小委員会 (平成27年度第2回)

日 時 平成28年3月11日 (金) 14:00~16:40

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 大瀧委員長 ほか18名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか2名

次 第 開 会

議 題

1) 前回議事録の確認について

2) アンケート結果について

3) 改訂方針について

4) その他

## 概 要

事務局の挨拶に引き続き、経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官のご挨拶をいただいた。同課担当官の紹介に引き続き、大瀧委員長の進行により、前回議事録を確認後、アンケート結果等の報告を行った。改訂方針について担当委員からの説明等に基づき検討され、下水処理水取水、海水取水は現行のとおり残すこと等の一部修正を行い、他については原案どおり、了承された。

### (1) . 5③ 工業用水道施設設計指針改訂検討小委員会 (関連産業委員) (27年度第1回)

日 時 平成28年2月8日(月) 16:00～17:30

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 綾委員、伊藤委員、大嶽委員、竹村委員、林委員 ほか3名

次 第 開 会  
議 題

1) 工業用水道施設設計指針・解説-2004-改訂方針(素案)

2) その他

## 概 要

事務局の進行により、改訂方針素案の検討を行うとともに担当の章の確認を行った。また、3月予定の小委員会前までに、担当の章に関する改訂方針案の提示を受けることを確認した。

### (1) . 6 関連産業委員会

#### (1) . 6 ①関連産業委員会(平成27年度第1回)

日 時 平成27年6月26日(金) 16:00～16:40

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 日本ダクタイル鉄管協会本山理事長 ほか委員16名

来 賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官

次 第 挨 拶  
議 題

1) 平成26年度事業報告・収支決算、平成27年度事業計画・収支予算について

2) 事業研究大会における関連産業会員の技術情報の発表等について

3) その他

## 概 要

ご来賓としてご出席いただいた経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官からご挨拶をいただいた後、本山委員長の挨拶・議事進行のもと、各議案について事務局が説明を行い審議が行われた。

議題1)に関して、第2回委員会が9月3～4日に北海道企業局協力のもと、苫小牧で開催されることが確認された。

議題2)に関して、10月開催予定の事業研究大会で、関連産業会員の技術展示に加えて技術情報発表を実施することが確認された。

#### (1) . 6 ②関連産業委員会(平成27年度第2回)

日 時 平成27年9月3日(木)、4日(金)

場 所 苫小牧市 グランドホテルニュー王子

出席者 本山委員長ほか15名

来賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか2名  
次第 開 会  
挨拶  
講演（板倉工業用水道計画官）  
議 題

- 1) 前回議事録の確認について
- 2) 事業研究大会での技術紹介、展示等について
- 3) 協会誌「維持管理特集」等への寄稿依頼について
- 4) その他

#### 概 要

北海道企業局のご協力を得て1日目は、苫小牧地区工業用水道第二施設、苫小牧東部給水区域を視察した。

委員会は、地元北海道企業局小林次長から歓迎の挨拶があり、ご来賓として出席いただいた経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官から、ご挨拶と工業用水道政策小委員会で検討した「今後の政策展望」の対応状況についてご講演をいただいた。その後、本山委員長の進行のもと、各議案について事務局が説明を行い審議が行われ、承認・報告された。

2日目は、北海道電力苫東厚真火力発電所等の見学を行い終了した。

(1) . 7 その他

(1) . 7 ①情報の提供関連

平成27年7月に、同年3月末時点の工業用水道事業者における資機材の備蓄情報を収集整理し、事業者会員はじめ全国の工業用水道事業者、経済産業省及び（独法）水資源機構に情報提供を行った。また、平成25、26年度の工業用水道事業における給水状況、昭和52年から平成26年度末までの工業用水道料金の推移を収集整理し、事業者会員を中心に情報提供を行った。

(1) . 7 ②水道分野における官民連携推進協議会

（厚生労働省、経済産業省、日本水道協会との共催）

#### 概 要

厚生労働省と経済産業省が連携し、水道事業者等と民間事業者との間におけるマッチング促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」を、厚労・経産両省主催、日水協・工水協共催で開催した。

#### 開催状況

##### 第1回協議会

平成27年7月28日（火） 富山市内 参加123名

##### 第2回協議会

平成27年10月2日（金） 都内 経済産業省本館 参加166名

##### 第3回協議会

平成27年12月4日（金） 大阪市内 参加181名

##### 第4回協議会

平成28年2月5日（金） 広島市内 参加158名

(2) 出版に関する事業

(2) . 1 編集委員会

(2) . 1 ①編集委員会（第1回）（平成27年度）

日 時 平成27年4月15日（月）15:00～17:00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等16名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか2名  
総務省公営企業経営室 木村課長補佐

次 第 開 会  
議 題

- 1) 5月号の確認、7月号・9月号の編集について
- 2) その他

概 要

新任委員の紹介の後審議に入り、第50回研究発表会の成果から委員の希望のあった発表の執筆依頼をすることとした。また、5月号を確認、7・9月号の査読確認、査読担当委員の調整を行った。

(2) . 1 ②編集委員会（第2回）

日 時 平成27年6月25日（木）15:00～17:00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等16名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか2名  
総務省公営企業経営室 木村課長補佐

次 第 開 会  
議 題

- 1) 7月号の確認
- 2) 9・11月号の編集等について
- 3) その他

概 要

新任委員の紹介の後審議に入り、7月号を確認した。また、9月号の査読確認、査読担当委員を決定した。11月号については水質試験特集の調整を進めることとし、一般原稿は、千葉県から二、三の事例を執筆することとされた。また、過去の事故・トラブル事例集から寄稿依頼する候補を選定することとした。

(2) . 1 ③編集委員会（第3回）

日 時 平成27年8月21日（金）15:00～16:50

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等16名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官  
総務省公営企業経営室 木村課長補佐

次 第 開 会  
議 題

- 1) 9月号の確認
- 2) 11・1月号の編集等について
- 3) その他

概 要

9月号を確認、11月号について、水質試験特集の担当委員からの説明があつ

た。また、維持管理シリーズを一旦終了することとした。1月号については事故事例集からのものを「事故と対応・対策」とし、委員推薦のものを依頼することとした。

(2) . 1 ④編集委員会 (第4回)

日 時 平成27年10月16日 (金) 15:00~16:30

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等16名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか2名  
総務省公営企業経営室 木村課長補佐 (代 鶴原事務官)

次 第 開 会  
議 題

- 1) 11月号の確認
- 2) 1・3月号の編集等について
- 3) その他

概 要

11月号を確認した。1月号は事故と対応・対策をスタートさせ、新着原稿の査読担当委員を決定した。また、研究発表論文応募と日刊工業新聞社賞の推薦を促進した。

(2) . 1 ⑤編集委員会 (第5回)

日 時 平成27年12月18日 (金) 15:00~17:00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等14名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名  
総務省公営企業経営室 木村課長補佐

次 第 開 会  
議 題

- 1) 論文賞選考要領の改正について
- 2) 論文賞の選考について
- 3) 1月号の確認、3・5月号の編集について
- 4) 第51回研究発表会について
- 5) その他

概 要

論文賞選考要領の改正については、受賞項目に特別賞を加えた修正をし、承認され、引き続き論文賞の選考を行い、特別賞1件と奨励賞1件がそれぞれ選考決定された。

1月号の確認を行い、3月号・5月号の査読担当委員を決めた後、第51回研究発表会について、推薦のあった2件の日刊工業新聞社賞候補について検討し、了解された。また、プログラムを編成し、担当座長を決定した。

(2) . 1 ⑥編集委員会 (第6回)

日 時 平成28年2月18日 (木) 15:00~17:00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等16名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名  
総務省公営企業経営室 木村課長補佐 (代 鶴原事務官)

次 第 開 会  
議 題

- 1) 3月号の確認、5・7月号の編集について
- 2) その他

概 要

3月号を確認した。5月号について査読調整等検討し、了解された。7月号の編集について検討を行った。

(2) . 2 出版図書

- ① 会誌「工業用水」平成27年5月号～平成28年3月号 (No. 630～635)
- ② 経済産業省工業用水道工事設計標準歩掛表 (平成27年度)
- ③ 工業用水道実務必携 (2015年版)
- ④ 工業用水道維持管理指針 (2015年版)
- ⑥ 会員名簿 (2015年度CD版)

(3) 講習会事業

○ 工業用水道維持管理指針2015 講習会

日 時 平成27年12月15日 (火)

場 所 東京ガーデンパレス 2階「高千穂」

参加者 91名

来 賓 経済産業省産業施設課 村上係長 ほか1名

演 題 改訂の要点(綾委員長)はじめ、章毎に関連産業委員等を講師として実施

(4) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業

(4) . 1 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定

事業体委員で構成される「管・弁類等製造事業場認定委員会」により、製造事業場の設備、検査法、品質管理等について審査を行った結果、下記5事業場を認定工場として承認した。

認定年月日	認定番号	認定事業場名	認定の対象となる製品の名称
27・4・1	第35号	前澤工業(株) 埼玉製造所	弁類
27・4・1	第36号	(株)クボタ 枚方製造所	弁類
27・4・20	第31号	幡豆工業(株)	ダクタイル鋳鉄異形管 弁類
27・6・30	第11号	JFEエンジニアリング(株) 鶴見製作所	水輸送用塗覆装鋼管直管及び異形管
27・8・1	第60号	コスモ工機(株) 秋田工場	塗覆装鋼管異形管・不断水用バルブ 伸縮可撓管等・他

(4) . 2 工業用水道管・弁類の委託検査

工業用水道において使用するダクタイル鋳鉄管、鋼管、硬質塩化ビニル管、弁

類等の検収検査を（公社）日本水道協会に委託して行った。

（５）工業用水道保険事業

平成２７年度に創設した、工業用水道賠償責任保険及び工業用水道機械設備損害保険について、延べ２０件の加入状況となっている。